

日本スペイン交流400周年

よく耳にする「情熱の国、スペイン」。2013年は、そんなスペインと日本との交流400周年の年です。1613年、貿易交渉のため、日本の外交使節団がスペインに派遣されました。それがこの400周年の第一歩となったのです。

現代において、私たちがスペインという国に対して最も馴染みがあるのは、その芸術分野ではないでしょうか。ピカソ、ダリ、ゴヤ、……。この国からは、たくさんの著名な画家が生まれています。長崎県美術館でも現在、現代スペイン美術の巨匠であるアントニオ・ロペス展が開かれており、足を運ばれた方も多いと思います。また、建築家アントニオ・ガウディが設計し、現在もなお建造が進行中の、世界遺産にもなっている教会建築サグラダ・ファミリアも、スペインを代表する芸術作品の一つです。

上に書いたような芸術家の作品や建造物を、一度は目に見てみたいくはありませんか。スペインに限らず、外国に行って、その文化や風土、歴史を肌で感じてみたいと思う方は数多くいらっしゃるでしょう。ただ、実際の海外旅行はそう簡単にできるものではありません。そんなときこそ図書館です。画集や写真集、あるいは歴史の本のページをめくりながら、想像力をフル活用しての空想海外旅行を楽しんでみてはいかがでしょうか。



『現代スペインを知るための60章』
坂東 省次／著
明石書店
302.3 バ

新たな経済危機に直面している、多様性の国・スペイン。政治、経済、社会、文化など様々な側面から、現代スペインの実像を紹介する。



『ブラドで見た夢 スペイン美術への誘い』
神吉 敬三／著
中公文庫
中央公論新社
702.3 カ

聖なるものと俗なるものが、葛藤しつつ共存しているかのようなドラマティックなスペイン美術の魅力、スペイン美術研究の第一人者が、自らの内的体験をもとに描きだす。



『サグラダ・ファミリア ガウディとの対話』
外尾 悦郎／著
宮崎 真紀／訳
原書房
523.3 ソ

図面のないまま彫刻に挑む、産みの苦しみと喜び。世界遺産サグラダ・ファミリア「生誕のファサード」を完成させた日本人彫刻家が、ガウディの壮大な構想を豊富なカラー写真で詳細に読み解く。

＜図書館カレンダー＞

※ 毎週**火曜日**は

休館日です。

※ **開館時間**

10:00～20:00



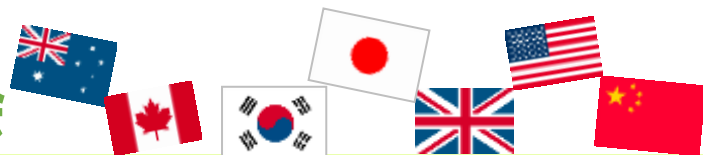
8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

いろいろな国のことばのおはなし会



7月6日(土)、いろいろな国のことばのおはなし会を開催し、大人子どもあわせて34名の参加がありました。今回は英語・中国語・韓国語で書かれた絵本を、それぞれの言語で読み語り、手遊びや歌も交えながらの会となりました。また、その国の文化についてもお話ししました。図書館にいながら、様々な国の文化に触れられたのではないのでしょうか。

次回は11月16日(土)を予定しています。この催しは、国籍関係なくどなたでも参加できますので、興味をもたれた方は、是非図書館に足をお運びください。言葉は分からなくても、子どもたちにとっては、自分が話している言葉だけではない世界があるということを感じてもらえる良いきっかけになるはずです。



子ども司書講座

図書館には毎日、たくさんの方が来館されます。特に週末ともなれば、家族や友達同士で訪れた子どもたちのわくわくした顔が一日中見受けられます。小さい頃から図書館に慣れ親しんでくれることは、私たち市立図書館のスタッフにとっても大変喜ばしいことです。

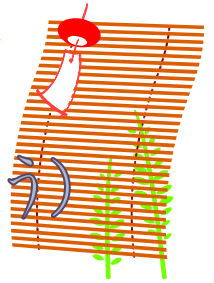
そんな子どもたちに「司書」という仕事を体験してもらい、図書館の使い方を学んだ上で、もっともっと上手に図書館を活用できるようになって欲しいという思いから、「子ども司書講座」を行いました。

5月から7月にかけて、小学4~6年生の全6名が参加し、図書館での調べ方を中心に学びました。図書の分類表や百科事典・検索機などを上手にを使って、問題に対する答えを導けるようになりました。時には、大人でも分かりにくいような問題でも丁寧に本を探し、一生懸命取り組んでいました。また、調べるだけでなく、スタッフの一員としてカウンター業務にも一緒に携わってもらいました。

終了後の子どもたちは、図書館を使うことに自信を持った様子でした。

これからも、たくさんの本を読み、何かを知りたいと思った時、自分で調べられる力を身につけてもらえればと思います。





～涼しい記～

夏の暑い中、冷蔵庫でよく冷やしたスイカをかぶりつくと、全身に涼しい風が通りぬけていくような気持ちになります。1冊目に紹介したい本は、江国香織さんの『すいかの匂い』というタイトルの短篇集です。ずっと忘れられない、特別な夏の思い出を誰もが持っています。誰にも言えずにドキドキ・ヒヤヒヤした、少女11人の忘れられない夏の記憶が、懐かしい風景の中に鮮やかに描かれています。

2冊目は、眺めて涼しくなる1冊を紹介します。図書館に涼しさを求めて来館される方も多いかと思いますが、本を開いて涼しさを感じることができる本も沢山あります。特に海や川、森などの大自然の写真集を見ていると、涼しくなっていく気がします。多くの写真集の中でも、特にお勧めしたい本は、写真家・岩合光昭氏の『氷のゆりかご アザラシ成長日記』です。北極の氷の上で可愛らしいアザラシの赤ちゃんが成長していく姿を見ていると、心はほっこり、身体は涼しくなっていきますよ。

(スタッフ：櫻庭 理恵)



『すいかの匂い』

江国 香織／著
新潮社
F913.6 エク



『氷のゆりかご アザラシ成長日記』

岩合 光昭／著
小学館
748 イ

～本で感じる涼(りょう)～

8月に入りいよいよ夏本番ですね。個人的には、年々と暑さが増しているように感じます。そこで今回は、身も心も涼しくなるような2冊をご紹介します。まず1冊目は『夏を涼しく暮らす 188のルール 脱・電力生活のすすめ。』です。この本は、「食」「医」「衣」「住」の観点から、夏を涼しく暮らすためのアイデアやグッズを紹介しています。例えば「すいか×ビール」は、危険な組み合わせなのをご存知ですか？この組み合わせは、ともに強い利尿作用があるため、一度に口にするとう脱水症状を引き起こす事もあるそうです。その他にも、家電製品全般にわたる「省エネ」のアイデアで、無理なく楽しく節電&節約ができますよ。みなさんも、賢く過ごして暑さを乗り切りましょう！

2冊目は、ホラー短編集『八月の暑さのなかで』で、ロアルド・ダールなど、短編の名手たちによる13編。読み終えたときには、恐怖だけでなく、奇妙さや不気味さが残る1冊です。各編の始めには作家紹介も書かれているので、作家たちの他の作品にも興味がわきます。また、英米のホラー小説に精通した訳者、金原 瑞人にも注目です。選び抜かれたアンソロジーをお楽しみください。

(司書：木下 綾子)



『夏を涼しく暮らす 188のルール

脱・電力生活のすすめ。』
エクスナレッジ
K590 ナ



『八月の暑さのなかで』

金原 瑞人／編訳
岩波書店
933 ハ

寄贈紹介

田中児童文庫

公益財団法人 田中奨学育成基金様が青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり、社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和 55 年に文庫を創設されました。

その後も毎年のように寄贈していただき、今年も 67 冊（8 万円相当）の図書をご寄贈いただきました。これまでにいただいた図書は 2,171 冊になります。ありがとうございました。



図書貸出券には有効期限があります



- 登録された日以降の誕生日から 3 年 2 ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の 6 ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の 2 ヶ月前から、カウンターにて更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの 2 ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの（免許証や保険証など）の提示をお願いいたします。（小学生以下の方は申請書の記入のみ）
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- **有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館ラジオ♪

毎月第2金曜日午後2時、長崎シティFM (81.3MHz) 「ウィーパラライブラリー」で放送中です!



『メルヘンビルダー』

グリム／著 ハンス・フィッシャー／絵 佐々 梨代子／訳 こぐま社 943 グ

「メルヘンビルダー」とは、ドイツ語で「メルヘンの絵」という意味です。この絵本では、「ヘンゼルとグレーテル」「赤ずきん」「おおかみと七ひきの子やぎ」「七羽のからす」などグリム童話全 9 話を収録しています。

物語のはじまりから結末までを、一枚の絵の中に描く手法（一枚絵）を使って、ハンス・フィッシャーが昔話の世界を描きました。独特の軽やかな線と愛嬌のある表情、そして温かく柔らかな水彩で色づけられています。

文章は総ルビで、グリムの原文に忠実な訳文。ドイツ文学の研究者とベテランの語り手の協力による訳で格調高い味わいを残しながら、子どもが耳で聞いても楽しめるものとなっています。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	海賊とよばれた男(上)	百田 尚樹	講談社	400	6	舟を編む	三浦 しをん	光文社	223
2	夢幻花	東野 圭吾	PHP研究所	346	7	永遠の0	百田 尚樹	講談社	170
3	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上 春樹	文藝春秋	332	8	母性	湊 かなえ	新潮社	158
4	64	横山 秀夫	文藝春秋	301	9	桜ほうさら	宮部 みゆき	PHP研究所	155
5	聞く力	阿川 佐和子	文藝春秋	228	10	ハピネス	桐野 夏生	光文社	143

(2013年7月15日現在)